

TOPICS

臨床研修病院指定25周年記念会を開催しました!



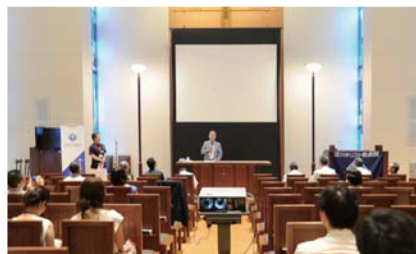
今年、当院が臨床研修病院の指定から25周年を迎えたことを記念し、8月19日に記念会を開催いたしました。そこで、ご自身も1996(平成8)年に当院の初期研修医であった、重岡靖腫瘍内科部長(前当院研修医同窓会会長)にお話をうかがいました。

25周年という歴史について。

当院は1992(平成4)年に臨床研修病院としての指定を受けましたが、実は指定病院になる以前の1960年代から研修医を受け入れていました。当時、アメリカから帰国した指導医の先生方が、アメリカでの臨床経験を生かし、日本のどこの病院にもない研修医の臨床トレーニングを始めようと、すべて英語による早朝回診を行ったと聞いています。この噂を聞きつけ、近隣の大学からもこの回診に参加する医師が出てくるなど、熱気にあふれていたようです。当院の臨床研修の原点は、こうした指導医の先生方の熱意にあり、そのマインドが現在も引き継がれていると思います。

25周年記念会の内容について。

この記念会は、研修医OBの先生方と病院とのつながりを継続的に持っていたくことを主な目的として、5年に1度開催しています。今回は約250名の研修医OBに呼び掛け、北海道から沖縄まで全国各地から約70人の参加がありました。



記念会は2部構成となっていて、第I部の記念式典では、OBの三重大学・若林先生と、当院呼吸器内科の西島先生にご講演いただきました。第II部では近況報告を各学年で行い、現在の活躍状況や当時の研修の思い出など、25学年分、それぞれ熱く語られ、予定時刻を過ぎてしまうほど、大いに盛り上がりました。

また今回の記念会では、前述の英語による早朝回診の研修を企画された「伝説の指導医」高階先生と白木先生にご出席いただき、高階先生から「YCHで研修を受けた臨床医であるというプライドを持つてほしい」という祝辞をいただきました。過去にご活躍された先生からの貴重なお言葉に、参加者一同を引き締め、気持ちをあらたにする場面もありました。

<臨床研修病院とは>

医学部を卒業した後、医師は研修医として、適切な指導体制の下で臨床研修を行わなければなりません。この臨床研修は、基本的な診療能力(態度・技能・知識)を身に付けるための場を提供できる、厚生労働省から指定された病院で研修するよう定められています。この病院を臨床研修病院と言い、当院は1992年に指定を受けました。

当院は一昨年創立60周年を迎えましたが、研修面においても大変歴史のある病院だということを、この会を通して私自身もあらためて感じさせられました。

次回は30周年ですね。

近況を互いに報告し合うという場が継続的にあるのはとても良いことだと考えています。今後より多くのOBの先生方に参加していただけるような会にしたいですね。さらに歴史を築いていけるように、院内で協力しながら良い研修を続け、若手医師を育てていきたいと考えています。

